

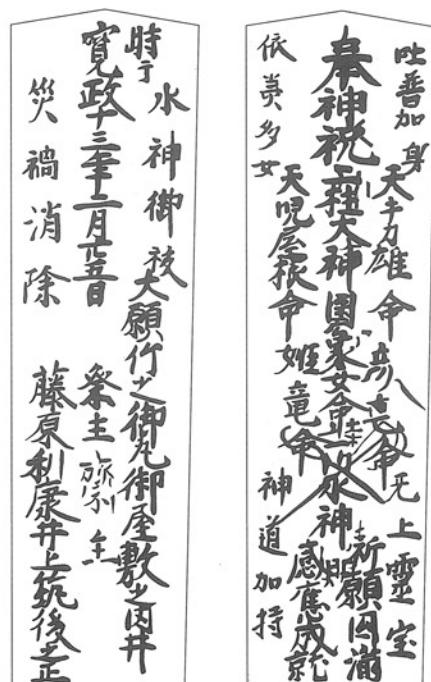
〔財〕広島市歴史科学教育事業団『広島城県庁前地点発掘調査報告』

（一九九四年）

〔財〕広島市文化財団『広島城跡太田川河川事務所地點』（一〇〇六年）

〔株〕バスコ・〔財〕広島市文化財団『広島城跡司法書士会館新築地點発掘調査報告書』（一〇〇七年）

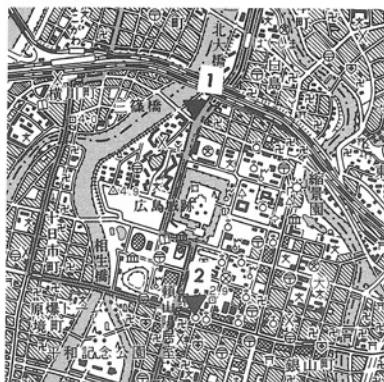
（福原茂樹）



三(13)

広島・広島城外堀跡

ひろしまじょうそとぼり



(広島)

1 所在地 一 広島市中区西白島、二 同紙屋町・大手町
2 調査期間 一 一九九五年(平7)一月～二月、二 一

九九六年八月～一九九七年一二月

3 発掘機関 一 (財)広島市歴史科学教育事業団、二 (財)広島市

4 調査担当者 一 大室謙一・篠原達也、二 篠原達也
玉置和弘

5 遺跡の種類 城郭跡(外堀)

6 遺跡の年代 中世末・近世・近代

7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

一 城北駅北交差点地点
調査地は、外堀の北西隅

部にあたる。文献によれば
この付近はもともと川であ
つたのを一七世紀初めに
堀としたとされており、明
治になつて埋め立てられて

いる。調査の結果、堀内の堆積土から陶磁器・瓦などとともに木簡一点が出土した。

二 紙屋町・大手町地点

調査地は南側外堀の一部にあたる。木簡一点が出土したのは「研屋町御門」から外堀を渡つて城外へ出る土橋と、これと並行して堀内にある石列との間である。石列は長さ三・一六m幅〇・五mで、北側にさらに延びている。石列自体に伴う遺物は出土していないが、土橋と石列の間からは近代の陶磁器が出土している。

8 木簡の収文・内容

一 城北駅北交差点地点

(1) 「○筒井□□□□」

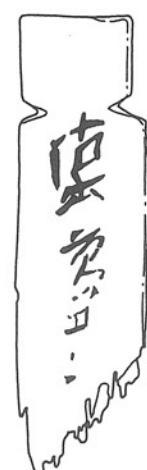
175×49×11 011

上部に径約一〇mmの穿孔がある。表札と思われる。元治元年(一八六四)以降に成立した「家中屋敷割図」によると、調査区付近に「筒井五十鈴」「筒井保三郎」の名が見える。

二 紙屋町・大手町地点

(1) 「▽御年貢米

(123)×34×4 039



二(1)

・「▽御年貢米□」

下端は折損する。「御年貢」という呼称は一八七一年の地租改正



一(1)

以前に使用されていたと考えられるため、近世の遺物である。

9 関係文献

〔財〕広島市歴史科学教育事業団「広島城外堀跡城北駅北交差点地点発掘調査報告」(一九九七年)

〔財〕広島市文化財団「広島城外堀跡紙屋町・大手町地点」(一九九九年)

(福原茂樹)

以前に使用されていたと考えられるため、近世の遺物である。